

協働パイロット事業 (H25) 企画提案書

団体名： いきもの企画

1. 事業の名称

動物園メモでもっと動物観察 「もっとメモ」作成事業

2. 事業方針 (市民ニーズや協働で取り組む意義を踏まえてください)

わたしたち「いきもの企画」は、いきものを通して地域の動物園や水族館を盛り上げる活動を行っている団体です。具体的には動物園・水族館の独自のツアーやガイド、「デザイン」を使って、わかりやすく、楽しく「いきもの」を知ってもらおうべく冊子を制作・販売したり、Webのデザインを手がけたりしています。

いきもの企画は『すべてのいきものを主役に』することを目標に掲げています。

しかしながら、動物園という限られた環境にあっても、小さなかったり地味だったりするいきものを気付かずに素通りしてしまう人や、動物園が提供している情報と間違った認識をしたまま帰ってしまう人などをよく見かけます。脇役にもなれないいきものがあることは、とてももったいないことだと考えます。そのような場面を、日本平動物園の屋内展示施設 (一部、半屋外) でも見かけました。

屋内展示は、天候を気にせず、より近い距離でいきものを観察できる便利な施設です。

それでも、同じ展示場に複数のいきものが飼育されていたりすると、パネル等だけでは動物園が提供したい情報の半分も伝えられないのではないのでしょうか。

そこで、わたしたちはその施設で手にとり読みながら観察してもらおう「もっと〇〇 (施設名) メモ」 (以下、もっとメモ) を日本平動物園と一緒に制作することを企画しました。

★「もっとメモ」の特徴

- ・ 設置する箱で配布 (無料)
- ・ 手にとりやすい A6 サイズ・ 8 ページ程度
- ・ 持ち帰ったあとも楽しめる
- ・ 全種類集めたくなる仕掛けでリピーターにつなげる
- ・ チェック項目などがあり記入できる
- ・ クイズなどで遊び心をもって楽しめる
- ・ 大人も楽しめるデザインと内容である
- ・ 動物園の「知ってもらいたいこと」と市民の「知りたいこと」のバランスをとる

★「もっとメモ」を設置する施設

日本平動物園にある「夜行性動物館」「熱帯鳥類館」「猛獣館299」「爬虫類館」「フライングメガドーム」「草食獣舎」「オランウータン館」「ペンギン館」「レッサーパンダ館」のそれぞれ情報の得やすさ・いきものの網羅のしやすさの現状を分析しました。(別紙1参照)

展示数の多い施設は必然的に情報獲得も網羅もしくくなる傾向にあります。しかし、そのような展示にこそ隠れた魅力が多いのも事実であります。このことから、さらなる充実の必要性を感じた「夜行性動物館」「熱帯鳥類館」「爬虫類館」「フライングメガドーム」の4施設専用メモを制作することを提案します。

3. 協働にあたって提案団体が果たす役割及び行政に望むこと（市の役割）

- ・動物の情報、資料を提供してもらうこと。基本的特徴から、飼育担当者だけが知っている情報など。
- ・各施設の入り口で無料配布してもらうこと。また、総合入園口等にこのメモが複数種類存在することを告知してもらうこと。さらに、無くなったら補充してもらうこと。
- ・展示内容が変わった場合は、迅速に更新させてもらうこと。
- ・ガイドボランティアスタッフの皆さんにも、このメモを使って解説してもらうこと。
- ・そのために、ボランティアガイドさんのご意見を聞ける場をコーディネートしてもらうこと。

以上を行政に望みます。

いきもの企画は市民目線のデザインを手がけます。

4. 成果目標（できる限り具体的に表現してください）

- ・成果物 「もっと〇〇メモ」4種類
「もっと夜行性動物館メモ」
「もっとフライングメガドームメモ」
「もっと熱帯鳥類館メモ」
「もっと爬虫類館メモ」

- ・市民のいきものへの興味・理解を楽しく深める

現状より詳しく、動物図鑑より楽しく、印象深く学んでもらう。存在すら知らなかったいきものにも魅力があることを知ってもらう。

- ・入館者数の増加

独自に通行量調査を行った結果、熱帯鳥類館は他の施設に比べ入館者数がやや低かったので、この「もっとメモ」をコンプリートする目的で足を運ぶ人を増やす。

- ・口コミ効果

埋もれがちな動物にも目を向け、人に話したくなるような知識を記載する。

- ・魅力再発見

すでに何度もきたことがある人でも、真新しい気持ちになり、動物園を見直してもらうきっかけになる。

- ・リピーターの増加

「もっとメモ」を集め、活用することで、日本平動物園の新たな深い楽しみ方を知り、何度も足を運ぶ「リピーター」を増やす。

- ・「大人も楽しめる動物園」のアピール

「動物園はこども向け」という思い込みを払拭させるデザインと内容で、大人が日常のひとつとして楽しむ施設であることをアピールする

団体名：いきもの企画

5. 事業計画

1. 日本平動物園との打ち合わせ
2. 飼育担当職員の方々に話を伺う
3. 現地調査・資料での調査を行う
4. まとめたものをデザインに落とす
5. ボランティアガイドさんにご意見を伺う
6. デザイン・内容の調整
7. 印刷
8. 各施設に箱をつくって設置する

6. スケジュール

遠足や行楽シーズンで来場者が増える10月を目標に作成します

- | | |
|------|------------------------------------|
| 7月末 | 動物園との打ち合わせ |
| 8月初旬 | 飼育担当職員の方々に話を伺う、現地・資料での調査 |
| 8月中旬 | まとめたものをデザインに落とす、ボランティアガイドさんにご意見を伺う |
| 8月下旬 | デザイン・内容の調整 |
| 9月中旬 | 印刷、納品 |
| 9月末日 | 設置 |

団体名：いきもの企画

実施体制および主要スタッフの経歴

実施体制 2名

橋詰茉莉亜

常葉学園大学造形学部インフォメーションデザインコースで4年間デザインを学ぶ

全国各地40ヶ所以上の動物園水族館に訪れている

日本平動物園には幼少期より馴染みがあり年間10回以上訪れ、友人グループのガイドツアーなど行っている

昨年の4月から団体を立ち上げて、いきものの新しい魅力を知ってもらうことをテーマとした冊子、5冊を発行

日本平動物園との共催イベントも行う

宮原智未

常葉学園大学造形学部インフォメーションデザインコースで4年間デザインを学び、卒業後デザイン事務所に勤務

NPOに興味を持ち、いきもの企画に参加

ウェブデザインをはじめ、いきもの企画の広報物、イベントで使用するシート等のデザインを担当している

他、事務局として会員のボランティアが参加予定

7. 特にアピールしたいこと（専門性、独自性、先駆性、実績など）

代表の全国各地の動物園に訪れた経験を活かし、独自の分析・調査が可能です。日本平動物園には他県の人に伝えたい、必ず伝わる魅力がたくさんあります。だからこそ地元から動物園を盛り上げていきたいと考えます。これまで学んできたデザインの能力を活かし、目も心も楽しくなる「もっとメモ」をたくさんの人に手に取ってもらいたいです。

静岡市ではNPOと動物園が協働した事例がないようなので、是非前例になりたいと思います。

協働パイロット事業 (H25) 見積書

団体名: いきもの企画

企画のタイトル: 動物園メモでもっと動物観察 「もっとメモ」 作成事業

項目	金額	説明
印刷代	82,000	@20.5円×4,000部
デザイン代	80,000	
打ち合わせ料	10,000	日本平動物園への交通費(往復)と入園料3人×3回
調査費	20,000	日本平動物園への交通費(往復)と入園料4人×2回
配布用籠代	500	4個
小計 A	192,500	
消費税 B=A×0.05	9,625	
合計 A+B	202,125	

◎実費弁償契約の希望の有無 無

※ 参加費の徴収、物品の販売、提案団体の自己負担等、委託料以外の財源がある場合

収入見込み額	金額	主な用途

企画提案の概要書

提案団体名	いきもの企画
企画案のタイトル	動物園メモでもっと動物観察「もっとメモ」作成事業
提案の要旨 (企画提案書の概要を400字以内でご記入ください。)	<p>普段動物園で見逃しがちな動物について、もっと詳しく、いろいろ知れる「もっとメモ」を、日本平動物園と一緒に作ります！</p> <p>動物園という限られた環境にあっても、小さなかったり地味だったりするいきものを気付かずに素通りしてしまう人や、動物園が提供している情報と間違った認識をしたまま帰ってしまう人などをよく見かけます。</p> <p>脇役にもなれないいきものがあることは、とてももったいないことだと考えます。特に屋内展示は、天候を気にせず、より近い距離でいきものを観察できる便利な施設です。</p> <p>それでも、同じ展示場に複数のいきものが飼育されていたりすると、パネル等だけでは動物園が提供したい情報の半分も伝えられないのではないのでしょうか。</p> <p>そこで、わたしたちはその施設で手にとり読みながら観察してもらう「もっと〇〇(施設名)メモ」(もっとメモ)を日本平動物園と一緒に制作することを企画しました。</p>
金額	202,125 円

《注意事項》

ホームページでの公開資料です。以下のことに注意してください。

- ・ 丸数字などの特殊記号は使わないようにしてください。
- ・ 図やイラスト、写真、動画、スライド等は掲載できません。
- ・ html で表現できない複雑な表現方法はご利用できません。